



イザヤ四十一章5、6節
義をもってあなたを召し、
あなたの手を握り、
あなたを見守り、
あなたを民の契約とし、
国々の光とする。

天を造り出し、
これを引き延べ、
地とその産物を押し広め、
その上の民に息を与え、
この上を歩む者に
霊を授けた創造主は
こう仰せられる。

わたし、主は、

なぜ苦悩が訪れるのか

ジェネシスジャパン会長 宇佐神 実



秋の創造セミナー2016 (長野県白馬村)

地を見ると、見よ、苦難とやみ、苦悩の暗やみ、暗黒、追放された者。しかし、苦しみのあった所に、やみがなくなる…やみの中を歩んでいた民は、大きな光を見た。死の陰の地に住んでいた者たちの上に光が照った。イザヤ書8章22節～9章2節 (抜粋)

ダーウィンの苦悩

この世には、なぜ苦しみや悩みがあるのでしょうか。「もし愛である創造主が本当に存在するならば、そのようなものを人に与えるはずがない。」多くの人はそう考えます。実は、進化論を提唱したダーウィンもそのような一人でした。

ダーウィンは、ビーグル号で世界を回って後、結婚して10人の子供に恵まれます。子供たちをこよなく愛したダーウィンですが、そのうち3人は亡くなってしまいます。1842年にメアリー (生後

3週) を、1851年にダーウィンが特にかわいがっていた長女アニー (10歳) を、そして1858年にウェアリング (1歳6カ月) を失い、その翌年1859年にダーウィンは「種の起源」の出版に踏み切ったのです。

彼は、航海から帰ってから進化論の考えを育んでいましたが、創造主の存在を完全に否定させた決定打が子供たちの死、特に最愛のアニーの死でした。

実は、ダーウィンをこのような結論に導いたのは、科学に対する誤解と聖書に対する誤解があったためでした。

種類と種の混同

聖書の創世記1章には天地創造の記録がありますが、ここに「種類にしたがって」植物や動物が造られたことが書かれています。ダーウィンの科学的誤解は、「種類 (kind)」とは生物の「種 (species)」を指すと考えたことでした。

分類学の父とよばれるリンネは、「種類 (kind)」に相当するものは分類上の「科 (family)」であるとしました。これは英語では家族の意味で、すなわち創造された時の家族を示すものとして名付けたのです。ですから「科 (family)」

は固定されていてその子孫は変化が起こると考えました。そして「科 (family)」の下位としていくつかの「属 (genus)」に分かれ、さらに「属 (genus)」の下位としていくつかの「種 (species)」に分かれると考えたのです。

しかし残念なことにダーウィンの時代の多くの人々、「種類 (kind)」を「科 (family)」ではなく「種 (species)」だと誤解していたのです。ですから創造主が造ったのは「種 (species)」で固定されていて変わることがないと信じていたのです。

自然を研究していたダーウィンのこと「種 (species)」が固定されていないことを示す証拠はたくさんありました。このためダーウィンは聖書が間違っていると誤解したのです。もしダーウィンが「科 (family)」が固定されていると理解していたなら、自分の研究が聖書と一致することに確信を深めていったことでしょう。

ユニテリアンの誤り

ダーウィンはキリスト教の異端、ユニテリアンの家庭で育ちました。この信仰の立場は、聖書をそのままには信じません。天地創造を否定し、アダムの罪以降すべての人が罪の性質をもつに至ったことを否定し、キリストによる罪の贖いも否定します。人の死後に関してはいくつかの見解がありますが、いずれにせよ、ダーウィンはそのような誤った聖書観をもっていたのです。そのため、ダーウィンはケンブリッジ大学で神学を勉強しましたが、本当には聖書を

を理解できなかったのでしょう。彼は後に「学問的にはケンブリッジ大学も (エディンバラ大学も) 得る物は何もなかった」と述べています。¹

聖書の教え

では、実際に聖書に書かれていることは何でしょう。

*初めに創造主が天と地を創造し、地に生息する動植物と人を造りました。その世界は、非常によく、苦しみも悲しみもありませんでした。創造主と御子キリストがその世界を喜び、アダムやエバとの交流を楽しんだことは、箴言 8:30-31 に記されています。

*しかし、天使ルシファーが墮落して創造主に逆らいました。そして人を誘惑し、最初の人アダムが創造主と交わした契約 (善悪の知識の木の実だけは食べてはならない。もしこれを破るなら必ず死ぬ。) を破らせ、創造主に対して罪を犯させたのです。

*アダムの罪の結果、この世界は呪われてしまい、老い・苦しみ・悲しみ・病・死がもたらされました。そしてこのアダムの罪以降、すべての人は罪の性質を受け継ぎ、創造主とその定めを無視して生きる者となり、その罪の刑罰を受けて死ななければならない存在となってしまったのです (ローマ 6:23, 第一コリント 15:22)。

*しかし人を深く愛される創造主は、人が再び永遠のいのちを得る方法を用意しました。それは、罪のないキリストが人の罪の刑罰を身代わりに受けることで、それ

を信じるすべての人は永遠のいのちを与えられるということです。(ヨハネ 3:16)。

*キリストの救いを信じ受け入れて死んだ人は、再び新しい体を与えられ、新しく造られる永遠の御国で、創造主と共に喜びと楽しみの中でそれぞれの生きがいのある使命を果たしながら永遠に生きることが出来ます。

もしダーウィンがこれらの聖書の教えを信じていたなら、病気にかかったアニーにもキリストが救い主であることを教え、再び永遠の御国で会える希望をもつことができたでしょう。

残念なことに、ダーウィンはこれらの聖書の教えを信じる代わりに、ユニテリアンの教えを聖書の教えだと誤解していました。そのため、創造主が愛の存在なら、アニーが死ぬという悲劇を起こさせるはずがないと考え、創造主を否定してしまいました。

しかし実際には、誤ったユニテリアンの教えを信じられなかったのです。そして創造主はいないと考えて進化論を提唱しました。



わざわざを創造する方

「わたしのほかには、(主は) だれもないことを、人々が知るためだ。わたしが主である。ほかにはいない。わたしは光を造り出し、やみを創造し、平和をつくり、わざわざを創造する。わたしは主、これらすべてを造る者。(イザヤ 45:5-7 抜粋)」

人はなぜ苦しみ、悲惨な経験をしなければならないのでしょうか。なぜ創造主はわざわざを創造するのでしょうか。聖書には、わざわざを与えることが目的ではなく、善い目的があることを教えます。

「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。—主の御告げ。—それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。あなたがたをわたしと呼び求めて歩き、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに聞こう。もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つかるだろう (エレミヤ 11:29-31)。

自分の助けはどこにもないと絶望している人が、創造主にこそ本当の解決と助けがあることを知らせるために、創造主はあえてわざわざを用いられるというのです。

人と創造主との関係は、小さな子供と親との関係にたとえられるでしょう。

子供が解決できない問題に悩んでいる時、親の教えを無視し逆らうなら、ますます悩み苦しみます。しかし親の指示に従うなら、解決

できて苦しみから解放されます。

人は、自分の力に頼って生きていこうとする存在です。そして創造主からみれば、小さく弱い存在です。もし人が創造主を無視し、自分の力に頼り続けるなら、ダーウィンのように誤った結論に達し、ますます苦悩の中を生きなければならなりません。しかしもし困難を通して自分と創造主との関係を正しく理解し、創造主に信頼して生きようになるなら、将来と希望を与えられるのです。

ダーウィンはキリストが救い主だとは考えていなかったため、愛娘アニーが病に死んだとき絶望して創造主を否定してしまいました。ダーウィンがこのことを通して本当の創造主を知ることができれば、どれだけよかったです。

私たちは、わざわざに会う時、二つの選択肢があります。創造主を探し求め、創造主に信頼するか、創造主を否定し、自分に頼るかです。創造主に頼ることを選ぶなら、それは将来と希望につながるのです。そして創造主は、人々に助けの手を差し伸べようと待っているのです。

冒頭の聖書のことは、救い主が来ることの預言で、苦悩の中にある人々に光が照ったとあるのは、キリストが人々の光として人を救うために来られたことを指しています。拙著がこのクリスマスの時期、創造主に信頼して生きること、約束された将来と希望について思い巡らす一助となればと願っています。

引用文献： 1. チャールズ・ダーウィン、wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/チャールズ・ダーウィン>
 参考文献： 1. 英国・アイルランドのユニテリアン：「ユニテリアンとは何か」
http://www.ukunitarians.org.uk/unitarian_what_that.htm

備考：ダーウィンが最初に信じていたユニテリアンの教理

*天地創造：創世記 1,2 章の天地創造の記録は神話であり、人間性について深い洞察を与える役割は担っているが、史実ではないとみなします。現在のユニテリアンは、進化論を歴史的事実だと理解してそのまま信じます。

*墮落：創世記 3 章にある人の墮落の記述は、すべての人が経験する人生の旅の神話的叙述であって、歴史的事実ではないとします。性善説の立場をとるので、罪の性質は親から子へと受け継がれることはなく、キリストによる贖いは必要ないと考えます。キリストが死に至るまで自分を無にして愛に生きたように、人もキリストを模範として自分を無にして愛に生きるなら、罪・過ち・利己的な考えを乗り越えることができるという教えです。

*キリスト：人であり油注がれたものとは考えますが、三位一体の創造主の御子で礼拝されるべき存在だとは考えません。

*救い：ユニテリアンの救いは、聖書が語るように永遠のいのちを受けることではなく、この世での救いです。すなわち、素晴らしい人生を送り死に備えることを指します

*死後：ユニテリアンの信仰では、人が死後どうなるかについてはっきり知ることはできません。個人として存続する・輪廻転生する・消滅する・何らかの形で創造主のもとに帰るなどです。

創造を伝える働き人養成講座

第5回 2017/1/16(月) 13:00～18(水) 10:40

静岡・伊豆高原 (温泉有り)

講義の他に自然を探訪

第6回 2017/1/23(月) 13:00～25(水) 12:00

高知・足摺岬 (温泉有り)

講義の他に自然を探訪

【参加資格】

- ・聖書の言葉が創造主の言葉だと信じる人。
- ・御子イエス・キリストを救い主と信じている人。
- ・創造を信じることの大切さを学び、伝えたいと願っている人。

講座の目的と概要

- * 創造主のみわざのすばらしさに感動し、その感動を伝える働き人が起こされる
- * 創造論の講演に加え、創造論の背景となる知識や考え方を少人数で学ぶ
- * 創造を伝えるのに使える資料の提供
- * 修了証授与 (全日程参加者)
- * 創造論を用いての個人伝道、CS や教会でのメッセージ、講演ができるように協力
- * 創造論伝道で励まし合える仲間を育む

2泊3日5食・定員 12名・参加費 5万円

お申込/詳細のお問合せは

ジェネシスジャパンまで

tel 029-292-9621

fax 03-6862-8340

e-mail info@genesisjapan.com

信じる！感動する！！ チャレンジ！！

ワードオブライフジャパン 加藤義人

神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められ…… (ローマ1:20)

講座で特に思わされた3つのことを証しさせていただきます。

まず第一に、そのまま信じるのがいかに大切かということです。聖書に書かれてあることはすべて神のことばであると信じていますが、学校、テレビ、雑誌などで教えられていることと、聖書が教えていることとは大分違うどころか、多くの場合、全く逆だと感じていました。しかしこの養成講座に参加し、創造論・進化論・また様々な解釈を比較して学ぶことができました。そして、聖書をそのまま信じるのが、いかに大切かを再確認したのです。

第二に、創造を学ぶことは面白く、感動をもたらすということです。普段、何気なく観ているもの、使っているものが、実は主が造られたものから多くのヒントを得て製作されていることが多いと知りました。ヨーグルトの蓋がハスの葉から、新幹線がカワセミのくちばしからヒントを得ているなど、講義の内容は面白く、感動することが多かったのです。

第三に、創造を伝えることはチャ

レンジだということです。これまでに、創造をどう伝えるかをチャレンジされた時、私自身が、あまりにも専門的な知識が少なく、もし間違ったことを語ってしまったら、信仰や信頼を失わせる原因になるのではないかと恐れて躊躇がありました。しかし、まずは自分の家庭で、友人間で、教会で伝えることから始めませんかとチャレンジを受けました。

家に戻ると、教会の若い女性2人が訪ねて来ました、私は一生懸命、教えてもらったこと2人に話していました。わからないことは、後で調べて話すことにし、共に考えながら過ごすひと時でした。翌日、教会の青年2人が訪ねてきて、また私は養成講座で学んだことを話していました。

うれしいことに、それぞれが話に関心を持ち、もっと学びたいと言ってくれました。創造論を話すことが、創造主に目を向けさせ、また思っていたより容易く、多くのチャンスがあることを知りました。

また次の講座にも参加する予定

です。このような機会を通じて、「創造を伝える働き人」が多く起こされることを願っています。

創造に関するイベント 2017

■ 創造を伝える働き人養成講座
第5回 2017/1/16(月)～18(水)
@ 静岡県 伊豆高原

第6回 2017/1/23(月)～25(水)
@ 高知県 足摺岬
会場は各地のリゾートマンションです。

第7回 2017/3 月末頃を予定
会場は調整中

■ 聖書&科学カンファレンス
8月中旬を予定
会場等は調整中

■ ジェネシスジャパン
秋の創造セミナー
2017/10/11(水)～13(金)
@ 長野県 白馬
ホテルグリーンプラザ白馬
講師：宇佐神正海・宇佐神実・山本哲也

* 今からご予約にお加えください♪
ご参加をお待ちしています♪
詳細はお問い合わせください♪